

全国一般大阪

2021年
11月17日
NO.732

全国一般大阪地方労働組合
大阪市東成区中道3-2-34
TEL 06-6977-9381
FAX 06-6977-9382
発行集人 福島 憲一
編集集人 福島 憲一

秋季年末闘争に奮闘しよう！

第1回執行委員会開催！

国内外の政治・経済の特徴は、新型コロナウイルス感染症は縮小しているもの予断は許さない状況にある。円高、原油高、材料高基調となつている。政治的には、国内では菅政権の突然の退陣、岸田首相は、就任早々、衆議院解散総選挙を実施、自公で安定多数を確保し、立憲民主党など野党は後退した。しかし、自公と日本維新などが3分の2以上を確保するなど改憲勢力が躍進した結果、憲法「改正」の動きが加速する可能性が高まった。こうした中で、全国一般大阪は第62回定期大会開催(9・25)以降、10月11日、第1回執行委員会を開催し、運動方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。

2021年秋季年末闘争などの方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。秋季年末一時金のとりくみ状況は、春及び夏に年間決定している組合と年末闘争でとりくみをすすめる26組合支部(11・14現在)の要求状況は、要求額711,750円(2・46カ月、28組合支部)と生活実感を反映した要求となっている。また、諸要求も定年延長・無年金問題やパートなど

国内外の政治・経済の特徴は、新型コロナウイルス感染症は縮小しているもの予断は許さない状況にある。円高、原油高、材料高基調となつている。政治的には、国内では菅政権の突然の退陣、岸田首相は、就任早々、衆議院解散総選挙を実施、自公で安定多数を確保し、立憲民主党など野党は後退した。しかし、自公と日本維新などが3分の2以上を確保するなど改憲勢力が躍進した結果、憲法「改正」の動きが加速する可能性が高まった。こうした中で、全国一般大阪は第62回定期大会開催(9・25)以降、10月11日、第1回執行委員会を開催し、運動方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。

2021年秋季年末闘争などの方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。秋季年末一時金のとりくみ状況は、春及び夏に年間決定している組合と年末闘争でとりくみをすすめる26組合支部(11・14現在)の要求状況は、要求額711,750円(2・46カ月、28組合支部)と生活実感を反映した要求となっている。また、諸要求も定年延長・無年金問題やパートなど

国内外の政治・経済の特徴は、新型コロナウイルス感染症は縮小しているもの予断は許さない状況にある。円高、原油高、材料高基調となつている。政治的には、国内では菅政権の突然の退陣、岸田首相は、就任早々、衆議院解散総選挙を実施、自公で安定多数を確保し、立憲民主党など野党は後退した。しかし、自公と日本維新などが3分の2以上を確保するなど改憲勢力が躍進した結果、憲法「改正」の動きが加速する可能性が高まった。こうした中で、全国一般大阪は第62回定期大会開催(9・25)以降、10月11日、第1回執行委員会を開催し、運動方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。

2021年秋季年末闘争などの方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。秋季年末一時金のとりくみ状況は、春及び夏に年間決定している組合と年末闘争でとりくみをすすめる26組合支部(11・14現在)の要求状況は、要求額711,750円(2・46カ月、28組合支部)と生活実感を反映した要求となっている。また、諸要求も定年延長・無年金問題やパートなど

国内外の政治・経済の特徴は、新型コロナウイルス感染症は縮小しているもの予断は許さない状況にある。円高、原油高、材料高基調となつている。政治的には、国内では菅政権の突然の退陣、岸田首相は、就任早々、衆議院解散総選挙を実施、自公で安定多数を確保し、立憲民主党など野党は後退した。しかし、自公と日本維新などが3分の2以上を確保するなど改憲勢力が躍進した結果、憲法「改正」の動きが加速する可能性が高まった。こうした中で、全国一般大阪は第62回定期大会開催(9・25)以降、10月11日、第1回執行委員会を開催し、運動方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。

2021年秋季年末闘争などの方針の具体的な一歩として決定した。その後、五役会議(11・5)を開催、組織の強化・拡大の現状や組織的課題、事務所問題、当面の日程、とりくみの具体化等を確認した。秋季年末一時金のとりくみ状況は、春及び夏に年間決定している組合と年末闘争でとりくみをすすめる26組合支部(11・14現在)の要求状況は、要求額711,750円(2・46カ月、28組合支部)と生活実感を反映した要求となっている。また、諸要求も定年延長・無年金問題やパートなど

組合名	要求額	月数	回答額	月数
さかえ清掃	806,000	2.60	775,000	2.5
常陽興業	825,125	2.50	825,125	2.5
泉都興業	722,925	2.55	708,750	2.5
S Y C	845,000	2.60	812,500	2.5
羽曳野委託清掃	893,230	2.60	824,520	2.4
日光	671,280	2.60	645,460	2.5
金岡興業	812,500	2.60	781,250	2.5
河内長野清掃	586,075	3.5	502,350	3.0
永大産業	540,560	2.0	400,015	1.48
電子専門学校	1,148,871	3.0	765,914	2.0
日本シール	550,000	2.0	525,125	1.90
日照	315,365	1.18	197,499	0.69
ハイウェイ管制	683,560	2.4		
サンビー	967,659	3.0		
ソニーマーケティング	745,330	2.5	596,264	2.0
東部冷蔵	430,000			
アイエスケー	585,000	2.5	376,740	1.61
西部ゴム	917,748	3.0		
サンプラザ	359,415	1.5		
トーエー産業	1,005,000	3.0		
内藤証券	1,171,485	3.0		
和泉委託金楽	715,554	2.5	429,330	1.50
イシイ	528,210	2.0		
都島自校	750,000	2.6		
済生会病院	858,162	3.0		
アルピオン		2.5		
興産管理サービス	614,034	3.0		
南海グループ		1.5		
新関西国際空港		2.5		
ハニューフード		2.0		
平均	711,750	2.46	616,655	2.12

2021年末一時金闘争

各組合は、新型コロナウイルス感染症が縮小傾向の中で、確信の持てる要求を組織し、すべての仲間の団結で団体交渉に全力をあげ、一時金を要求・獲得し、生活改善・補填に奮闘しよう。

大阪労働者弁護団第47回総会

全国一般大阪 書記次長 太田崇晴

2021年10月23日(土) 10時から大阪弁護士会館で第47回大阪労働者弁護団総会に参加しました。全国一般大阪からは道脇書記長、西村書記次長、そして私が参加し、会場での参加は20名程であった。WEBでの参加でした。例年はお昼からのところをコロナの影響で午前中の開催となりました。

2021年度の活動報告の内容としては、新型コロナウイルスの感染拡大により、新たな活動を模索する1年となり、各種会議や学習会等の基本的な活動がオンライン形式で行うことで試行錯誤を重ねつつも概ね軌道に乗せることができた。他方では団員弁護団と賛助団体のメンバーが直接対話する機会が減り、2ヶ月に1回のオンラインでの意見交換会を実施。毎回個別の紛争についての意見交換やコロナ禍への対応に関する事で、一定の役割は果たせたと報告していただきました。

そのあと2021年度の決算報告、2022年度の新役員選出の件と活動方針案と予算案の報告へと移り、特に2022年度の活動方針案の中で共感できたのは『労働者を大切にしなない企業は発展しない、この基本的で重要なメッセージを私たちは発信し続ける必要がある』ということ。私も全く同感であり、何回か団交に参加したときも、会社側の不誠実な対応にも怒りを覚えることもあり。働く人の権利を守る、実践して行きたいものです。

また、大阪労働者弁護団の本年度のキャッチフレーズとして、『困った時に大阪労働者弁護団がある。前に進みたい時に、大阪労働者弁護団がある』を、大阪労働者弁護団を全国一般大阪に置き換えて、活動して行きたいと思っております。

休憩後、長年難民事件に関わって来られた空野弁護士による講演会でした。最近ニュースで話題になったミャンマーのサッカー選手、ピエ・リアン・アウン氏の難民認定問題に関わっていたことの話から、日本の基準と国際的な基準とが乖離しすぎている点や、40年近くも難民問題について棚上げしている事実、我が国の難民認定率の低さ(因みに2020年の難民申請者は3936人、認定者は47人、1%未満)、話は聞いたことあるけど、まさかここまで低いとは思いませんでした。非常に分かりやすく勉強になり、今後も継続して参加していきます。

また、大阪労働者弁護団の本年度のキャッチフレーズとして、『困った時に大阪労働者弁護団がある。前に進みたい時に、大阪労働者弁護団がある』を、大阪労働者弁護団を全国一般大阪に置き換えて、活動して行きたいと思っております。

休憩後、長年難民事件に関わって来られた空野弁護士による講演会でした。最近ニュースで話題になったミャンマーのサッカー選手、ピエ・リアン・アウン氏の難民認定問題に関わっていたことの話から、日本の基準と国際的な基準とが乖離しすぎている点や、40年近くも難民問題について棚上げしている事実、我が国の難民認定率の低さ(因みに2020年の難民申請者は3936人、認定者は47人、1%未満)、話は聞いたことあるけど、まさかここまで低いとは思いませんでした。非常に分かりやすく勉強になり、今後も継続して参加していきます。

また、大阪労働者弁護団の本年度のキャッチフレーズとして、『困った時に大阪労働者弁護団がある。前に進みたい時に、大阪労働者弁護団がある』を、大阪労働者弁護団を全国一般大阪に置き換えて、活動して行きたいと思っております。

また、大阪労働者弁護団の本年度のキャッチフレーズとして、『困った時に大阪労働者弁護団がある。前に進みたい時に、大阪労働者弁護団がある』を、大阪労働者弁護団を全国一般大阪に置き換えて、活動して行きたいと思っております。

第58回護憲大会へ参加・報告

ユニオンおおさか執行委員

第58回護憲大会が10月30日・31日の2日間で開催されました。今年は仙台で行われ、青年女性部からも数名現地への参加を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で現地への参加がかなわず、オンライン配信を視聴することとなりました。仕事で参加できなかった人もいましたが、6名が事務所に集まって1日目のLIVE配信を視聴しました。

はじめに開会総会があり、実行委員会の挨拶、メッセー、紹介、基調提起、表彰が行われました。その後、約30分の休憩をはさんで、メイン企画が行われました。

メイン企画の一つ目は、「震災から10年・被災地の今と基本的人権」と題してシンポジウムが行われました。被災地の現状と復興の課題についてまとめたビデオの後に、パネリストからの報告がありました。河北新報の高橋鉄男さんは、避難所に人が集中してマンパワー不足に陥った問題等について報告し、コロナ禍における在宅避難や分散避難の仕組みづくりの必要性を訴えました。イコールネット仙台の宗片恵美子さんは、避難所における女性の人権問題について報告し、災害対策の議論への女性リーダー参加の必要性を訴えました。食緑水を創る宮城県民会議の工藤昭彦さんは、農業関係の被害及び復旧の概況についての報告で、「被災農家排除型惨事便乗シナリオ」による利益・効率優先の復興が進められていることを指摘し、地域農家参加型の復興の必要性を訴えました。平和センターの武田貴志弁護士は、住宅再建に関する実状と課題について報告し、住民合意と首長のリーダーシップによる復興の必要性を訴えました。

メイン企画の二つ目は、「改正国民投票法の問題点」についての講演が行われました。福田護弁護士は、まず改憲手続きは公平公正でなければならないということを述べた後、今年6月に成立した改正国民投票法で、立憲民主党の提案により、施行後3年を目途に措置を講ずるとして加えられた附則第4条に触れ、そこにあげられているインターネット等の広告規制や資金の規制等の問題についての議論の必要性を訴えました。名古屋学院大学の飯島滋明教授は、まず国民投票そのものに危険性があるということを述べた後、今の手続きではインターネット等による外国資本の介入のリスクがあることなどに触れ、運動論として改憲手続きについても問題にすることの必要性を訴えました。

今回の護憲大会を受けて、避難所で女性や弱い立場の人権が守られていない現状があることを改めて知りました。憲法が規定する基本的人権が守られるように、多様な立場の人が参画して災害対策や復興を行う仕組みが必要であると思われました。

右下段へ

国民投票の問題については、今回は主に手続きの問題をテーマにしていきましたが、その前に自民党が掲げる改憲4項目の内容の危険性についても議論すべきであると思われました。それを行わず、自公政権が改憲を行うために敷いた国民投票法の土俵に乗って、手続きの問題の議論に注力するのは危険であると感じます。

『ジュネーシー戦争への道』

アジアの平和 2021 関西のニュース

全国一般大阪 書記次長 太田 崇晴

2021年10月23日(土)、午後2時から4時の間でエルおおさか大ホールにて上記の集会が行われました。参加者は道脇書記長、西村書記次長、小野里執行委員、ユニオンおおさかの高橋特別執行委員、そして私の計5人が参加しました。感染対策をしていて約250名から300名くらいは参加していたと思います。

まず始めにNPO法人国際地政学研究所理事長の柳沢協二さんによる『日米の一体化ではなく、戦争回避の外交』というテーマで講演されました。米中の軍事バランス(海軍艦艇・中国350隻、同・米国290隻、中距離弾道ミサイル・中国1250発、米国0発)の説明から台湾を巡る中国の威嚇的軍事行為が続く中、米中戦争も起こりかねないと言及していました。万が一戦争になれば、米国は日本を拠点にして戦わなければならない。中国からすれば日本の基地は攻撃目標であり、安保法制により日米一体化で米軍が参戦すれば自衛隊も参戦し日本の自衛隊基地が標的になる。更に深刻なのは、『日本の政治家は戦争を知らなさすぎる』と強く仰っていました。私も同感であり、先月の自民党総裁選の各立候補者の演説を聞くと強く感じました。『ミサイルをおけば抑止力になり、ミサイルは来ない』『敵基地攻撃は有力な手段』などと平然と言うあたり恐ろしく仕方がないし、しっかりと反戦運動にも参加して行きたいと思えました。戦争をしない為には、①憲法9条の憲法前文の重要性を訴えること、②外交による戦争回避を訴えること、③防衛政策として専守防衛に徹した自衛隊の運用を図ることが挙げられます。

第二部の講演として九州ブロック・参議院議員の高良鉄美さんによる『平和憲法を蝕む政府の愚行、再び戦争の惨禍が』というテーマで講演されました。感染対策上WEB参加でしたが、自身も沖縄出身という点もあって、第二次世界大戦の沖縄戦の話から米軍基地問題、現状の沖縄の話、そして憲政に欠ける国政、国会と政府の愚行により再び戦争の惨禍が起らないようにと、強く訴えていました。

地裁・労働員会日程

- ◇サンプラザ労組
 - ・あつ旋申請 2021/6/15
 - ・第3回斡旋作業 2021/10/19(次回 11/22)
 - ・不当労働行為救済申立 2021/8/5
 - ・第2回調査 2021/10/19(次回 11/22)
- ◇内藤証券労組
 - ・不当労働行為救済申立 2021/7/21
 - ・第2回調査 2021/10/20(次回 12/16)
 - ・追加救済申立 2021/10/29
 - ・第1回調査 2021/12/16
- ◇マテロック支部
 - ・解雇撤回地位確認訴訟(堺支部) 2019/7/4
 - ・府労委救済申立 2019/9/2 勝利命令 2021/5/10
 - ・取消訴訟 2021/10/4(次回 12/8)
 - ・地裁弁論和解 2021/10/22(次回 11/18)
- ◇ホロニクスグループ支部
 - ・解雇撤回仮処分申立 2020/9
 - ・勝利決定(地位確認) 2021/2/15
 - ・本訴申立 2021/3/18
 - ・第5回弁論 2021/10/20(次回 12/1)
- ◇ホロニクス・医誠会病院提訴
 - ・損害賠償請求提訴 2020/12/25
 - ・損害賠償弁論 2021/11/16(次回 11/16)
- ◇シークス支部
 - ・解雇撤回労働審判申立 2019/5/14 勝利審判 9/2
 - ・会社異議申立提訴 2019/9 地裁証人調 2021/7/2
 - ・弁論和解 2021/10/21
- ◇EQWEL支部
 - ・解雇撤回労働審判申立 2020/9/6 勝利審判 2021/1/12
 - ・異議申立・本訴 2021/9/3WEB(次回 10/22)
- ◇都島自動車学校支部
 - ・府労委不当労働行為救済申立 2021/5/12
 - ・第6回調査 2021/11/4(次回 12/2)
- ◇南海グループ支部
 - ・あつ旋申請 2021/6/30(第2回 10/19不調)
- ◇丸文支部
 - ・あつ旋申請 2021/7/12(第3回 11/4、次回 12/21)

当面のスケジュール

- 【2021年11月】
 - ・11/18(木)18:30 第2回執行委員会 全国一般大阪事務所
 - ・11/19(金)13:00 全国一般評議会四役会議 自治労会館
 - 18:30 青年女性部幹事会 全国一般大阪事務所
 - ・11/19~20 関西ブロック連続労働相談(10~18時) 全一般大阪事務所
 - ・11/20(土)15:00 第82回中小労働運動セミナー 全国一般大阪事務所
 - 18:00 ユニオンおおさか執行委員会 全国一般大阪事務所
 - ・11/22(月)18:00 南海グループ支部団交 会議室・心斎橋
 - 18:30 東南地域協議会 サンビー労組
 - ・11/24(水)18:00 慶生会支部団交 弁護士事務所
 - 18:30 北大阪地域協議会 全国一般大阪事務所
 - ・11/26(金)19:00 青年女性部第20回定期大会 全国一般大阪事務所
 - ・11/27(土)13:30 原発・核燃からの撤退を2021 関西集会 エルおおさか南館
 - ・11/29(月)18:00 サンプラザ労組団交 本社
 - ・11/30(火)18:30 丸文支部団交 会議室・梅田
- 【2021年12月】
 - ・12/01(水)15:00 関西ブロック幹事会 全国一般大阪事務所
 - ・12/02(木)15:00 府本部執行委員会、組織強化委員会 P L P 会館
 - ・12/03(金)15:00 阪南地域協議会 サンスクエア堺
 - 18:30 木畑市議市政報告会 アゴレーエージェンシー堺
 - ・12/06(月)18:30 全国一般大阪第1回組織強化拡大委員会 全国一般大阪事務所
 - ・12/9~10 13:00 自治労2022春闘討論集会 T O C 有明
 - ・12/10(金)18:00 委託連合執行委員会 大野コミュニティ
 - ・12/11(土)13:30 全国一般大阪第3回執行委員会 全国一般大阪事務所
 - ・12/15~16 連合大阪労働相談(10~19時) 連合大阪
 - ・12/17(金)18:30 青年女性部幹事会 全国一般大阪事務所
 - ・12/18(土)12:00 全国一般評議会幹事会 自治労会館
 - ・12/19(日)09:30 全国一般評議会2022春闘討論集会 自治労会館
- 【2022年1月】
 - ・1/06(木)16:00 府本部旗開き P L P 会館
 - ・1/22(土)10:00 関西ブロック2022春闘討論集会・総会 兵庫
 - ・1/29(土)13:00 全国一般大阪2022春闘討論集会・臨時大会 J A M 西日本会館